

教科書展示会実施状況について(最終)

○ 閲覧者数及び意見書件数

展示期間	会場	閲覧者数	意見書
6月1日(金) ～7月4日(水)	京都市総合教育センター	55人	42件
	右京中央図書館	45人	40件
6月1日(金) ～6月8日(金)	中央図書館	4人	1件
	京都市生涯学習総合センター山科	3人	0件
	左京図書館	9人	8件
6月13日(水) ～6月20日(水)	伏見中央図書館	11人	6件
	東山図書館	1人	1件
	吉祥院図書館	5人	4件
6月24日(日) ～7月1日(日)	醍醐中央図書館	13人	13件
	北図書館	19人	17件
	洛西図書館	10人	10件
合計		175人	142件

※閲覧者数は、閲覧者名簿に氏名を記入した人数。

※総合教育センター、右京中央図書館では、小学校・高等学校・総合支援学校用教科書も展示。

○ 意見書の分類(※1つの意見書に2つ以上の分類あり)

①教科化への不安や疑問等	59件
②教科化への期待等	10件
③特定の教科書、教材への意見	87件
④指導方法や学習方法等への意見	18件
⑤評価に対する意見	58件
⑥その他	33件

【参考】	22年度小学校教科書採択	来場136人	意見16件	(6/4～7/7)
	26年度小学校教科書採択	来場108人	意見57件	(5/30～7/2)
	23年度中学校教科書採択	来場488人	意見256件	(6/3～7/6)
	27年度中学校教科書採択	来場499人	意見317件	(6/5～7/8)
	29年度小学校道徳科教科書採択	来場225人	意見126件	(6/2～7/5)

教科書展示会の意見書 (原文のまま転記)

＜総合教育センター＞ 42件

① 中学生という難しい年頃の生徒に、道徳を教え、評価するということが、とても困難なことなのではないか、と教科書を見ながら思いました。多様な価値観を考えさせる、一見100%正しいと思える行為が本当にそうなのかと問い直すなど、大人が見てもなるほどと思うものもありますが(光村・2年・民主主義と多数決の近くて遠い関係、廣済堂・1年・加山さんの願いなど)、日本伝統、家族のことなどは、全くそのような前提もなく、無条件にすばらしいとほめたたえているのが気になります。多様な背景を持つ子どもたちもいます。特に日本教科書での人の選び方、取り上げ方など、疑問に思います。歴史も学びます。人としての業績を否定するものではありませんが、教え方には細心の注意が求められると思います。個人一人一人の生き方や心のあり方を見つめることも大事ですし、社会における公共心など教えることも大事ですが、実際の社会のしくみと連動した主権者教育のようなものや、果たすべき義務だけでなく、自分自身が大切、個人として尊重される権利があることを教えてあげてほしいです。

行政区：下京区 年齢：40代

② 感謝や礼儀など道徳で教えることは当たり前子どもたちに身に付けてほしいことです。それをしっかり授業で教えることはとても大切だと思います。道徳を評価することは、とても難しいことですが、子どもたちに伝えられるよう、先生方には頑張ってほしいです。

行政区：北区 年齢：72歳

③ 夜間までやっていたため、仕事帰りに立ち寄りしました。各社とも工夫されていて、興味深く読ませていただきました。

行政区：伏見区 年齢：30代

④ 私は小学校道徳教科書が京都市では「日本文教出版」だったので中学道徳教科書が「日本文教出版」ではないかと予想して「日本文教出版」の中学教科書について書きます①「日本文教出版」の道徳教科書には小・中共に教科書と「道徳ノート」がついています。「道徳ノート」は担任と子どもに教科書教材に縛られる危険性があります。教材について全て1ページ書き込むよう指示されています。「登場人物の気持ちを考える」「徳目一般の考えを書くよう要求される」(例. 伝統守るにはあなたはどうか?) ②具体的教材問題1. 1年11「花火に込められた平和への願い」真珠湾攻撃の本質をかくし美談にしている2. 2年「昔と今を結ぶ糸」p22新薬師寺十二神像調べで「日本伝統文化を知ることはどんなことにつながるか」無理な設問3. 3年最後の教材「希望」p184原発事故に一切触れない大震災の話。出典電力会社作文コンクールの入選作品4. いい教材もある「3年杉原千畝」教材、ナチの問題・本国ビザ発令不許可おしきった話「3年31マララノーベル平和賞」の話p168国連演説ものせている

行政区：伏見区 年齢：76歳

- ⑤ 見本本を全て読みました。どれも工夫されていますが、何を学ぶのか、子どもたちがわかってから授業に入ることが大切だと感じました。私は教科化には賛成です。子どもたちがきちんと取り組むようになると思うからです。そのために、良い教科書をえらんで下さい。

行政区：下京区 年齢：60代

- ⑥ 日本教科書の自己評価欄，内心だけでなく態度や行動まで評価させるなんて気持ち悪い。徳目の押しつけにつながる！！表誌もかわいくなって、子どもには受けない、たいくつ！！日本教科書2年の教材「雨の日のレストラン」これは今問題になっている高プロを思わせる。学生時代の飲み会の後も会社に戻って仕事に集中できそうだと主人公に言わせるなんて、人間らしい働き方ではない！！道徳から最も離れているような安倍首相のスピーチを載せているしセンスゼロ！！日本教科書は絶対採択しないでください！！あと道徳の教科化はやめるべき！！道徳は学問ではない！！

行政区：右京区 年齢：未記入

- ⑦ 教科となることで、これまでから行われてきた道徳が，子どもたちによりしっかりと教えられるようになることを期待しています。

行政区：上京区 年齢：40代

- ⑧ 「日本教科書」社の中学道徳教育教科書は全体に憲法精神に反する侵略戦争是定・基本的人権に反する。＜中学一年＞①3「オレは最強だ！」p16は自分が「オレが最強だ」と思えば目標達成できるという精神主義，モラロジー研の教材②4「志～幼少の記憶」p26は陸上部の子どもが偶然「松下村塾記念館を訪ねる。安倍首相の郷里宣伝③9「嘉納治五郎先生との出会い」柔道の話はほとんどなく「オリンピック誘致」「日本のために行動」にすりかえている④16「銅像が教えてくれたこと」p141外務省に勤める人が郷土出身者を知らないというありえない話⑤20「ニッポニアニッポン」天然記念物トキの話，実際は日本トキは絶滅，現在のトキは中国生まれ学名だけの話＜中学二年＞①7「道の文化」柔道も茶道も「道」の文化で「武士道」につながるという「明日も知れぬ命」と賛美している②11「キスからもらった勇気」p82ロシア革命時の「シベリア出兵」の真実をかくし「ポーランド孤児救出」を賛美する③17「日本にオリンピックを呼んだ男」小学校副読本と同じ教材。東京オリンピックの宣伝に道徳教材利用している④17「ウズベキスタンの桜」日本人のシベリア抑留の問題をかくし捕虜の働きを美談にすりかえている⑤「台湾に残したものの」p146日本軍の台湾支配の問題を教師の美談にすりかえている。侵略戦争美化につながる⑥18「白菊」真珠湾爆撃が太平洋戦争の始まりになった事実を「慰霊」の名の花火「白菊」で美化，安倍首相訪問美化＜中学三年＞①4「奇跡のりんご」p34無農薬・無肥料のりんごづくりと主張，無肥料はウソ，非教的教材②5「サムライ西洋技術に挑む」薩摩藩は幕府に抵抗し財力をためた事実を「サムライ」賛美ですりかえている③16「なせばなる」p126米澤藩「上杉鷹山」の質素・儉約の話。庶民にも貧しい生活強いた精神主義宣伝④「伊勢の神宮」p148「伊勢の神宮」は日本人の「心のふるさと」とする神道賛美は宗教の自由に反する。憲法に反する。以上「日本教科書」社の「中学道徳教科書」は憲法精神に反する「日本賛美・武士道」侵略戦争是定の危険なもの京都で採用しないでほしい

行政区：伏見区 年齢：76歳

⑨ 近所にあったため、休みの日に行けた。広く展示会場があることで、行きやすい。

行政区：下京区 年齢：50代

⑩ 日本教科書内の「白菊」において、安倍晋三の演説から政治的意図がうかがえる。採択されないと思いますが。

行政区：下京区 年齢：66歳

⑪ 「先生が使い易い」より「子供が学び易い」ものが良いと思います。中身も大切ですが、大きさ重さが気になります。最近では私達の生徒時代に比べ教材が多すぎます。よって小さい三社のものが良いです。又いじめはもちろん命の大切さを深くとりあげているものが良いと思います。動物の命を大切にす、しかしその命をいただいて人は生きるなどの扱いをしている教科書を望みます。人権への配慮が十分いきとどいている教科書を望みます。教育出版、廣済堂あかつきに人権への深い取り組みが見えます。大きさ、重さ、命、人権で総合的に教育出版を子供に持たせたく推させていただきます。

行政区：中京区 年齢：38歳

⑫ 来年から中学校で道徳が教科に格上げになると聞き、どんな内容か興味があつてきました。ざっと目を通して見て、なにかあてつけがましいこうであらねばならないみたいな圧力を感じました。自分で自分を評価しなければならず、これが成績につながるとは…子どもたちの混乱が目に見えるようです。はっきりいって教科化には反対です。特に日本教科書は内容がおかしい。安倍首相の演説をなぜのせなければならぬのか全くわかりません。これを選ぶべきではないと思います。しいていえば学研がまだましでしたね。

行政区：下京区 年齢：61歳

⑬ 育鵬社の歴史、公民について執筆者の筆頭にある伊藤隆は、「歴史から何も学ぶことはない」と公言している人物であるから、そのような教科書からは何も学ぶことができない。自由社の歴史について過去を反省する姿勢がみられないよって、2社の教科書の使用に反対する。

行政区：東山区 年齢：53歳

⑭ 道徳を教科として中学校で教えるということに不安を感じます。道徳自体に教える科学的なものがないからです。道徳の教科書全体をみると、徳目を身につけさせる内容で、子どもの権利についてふれているものがないのも気になります。また、自分で自己評価させるノートも、子どもを追いこむことになるのではと心配します。日本教科書には、「割れ窓理論」のページがあり、ゼロトレランスにつながる危険を感じます。このような道徳という授業をまったく素人の担任が行なうことに反対します。また、日本教科書の道徳は採用しないで下さい。

行政区：東山区 年齢：65歳

⑮ 8社すべての教科書をざっと読んだ。マンガなどが使われており、子どもたちに親しみやすい工夫がよくされていると思う。私は教科化には賛成だ。教科として丁寧に取り組んでほしい。

行政区：下京区 年齢：62歳

- ⑯ 道徳の教科というのは大変むずかしいと教科書を見て感じました。どれももつとも思えてしまいました。これを教室での授業となると成功した人の努力に学べ、今のままではダメもつとがんばれがんばれと競争意識が肯定されすぎのようにも思いました。私は子どもの権利条約などを学んだ上で、道徳も学ばせてほしいと思います。子どものおかれている社会的背景も掘り下げられなければならないと思いました。

行政区：東山区 年齢：71歳

- ⑰ 子どもは徳目を教えてもらうことを待っている。欲しているのではないか。良い人間は、大人が背中を見せてやって、できるものだと思う。そうした意味で教師の役割は大きい、親や周りの大人の役割も重要だと思う。もつともつと啓発してほしい。

行政区：右京区 年齢：72歳

- ⑱ 日本教科書（2年）の「台湾に遺したもの」の内容に異和感をもちました。そもそも、当時の日本が台湾を統治すること自体への戦後の反省や、台湾の人々の反対のなどの背景がまったくぬきに、上からの「教育」を美化しているような印象を受けました。同じく「和解の力」も、一方的な侵略戦争の開戦への反省のまったくぬけおちている安倍氏の演説をそのまま教科書に掲載するのはどうかと思います。「雨の日のレストラン」は、ワークライフバランスに逆行する内容でいただけないと思いました。廣濟堂あかつきの「釣りざおの思い出」の母がなぜ釣りざおを折ることまでしなければならぬのか、このストーリーから子どもたちに何を教えたいのかの意図がまったくわかりません。日本教科書ならびにあかつきの教科書は、採用しないでほしいと思います。

行政区：左京区 年齢：50歳

- ⑲ 現代の子どもたちの非行に心を痛めています。学校教育で教えるべきを教えることを徹底してもらいたい。教科としての道徳に賛成する、どのように学んだのか、しっかり評価することも大切だろう。教師に期待したい。

行政区：下京区 年齢：66歳

- ⑳ 日本教科書道徳中学校1P16オレは最強だ。全員最強になれるわけではない。P26タマママ安倍首相のおひざ元松下村塾に吸い寄せられる違和感P170嘘をついてはいけない日本のニッポニア・ニッポンは絶滅した。P153大地―八田与一の夢。台湾を植民地にしたことを美化してはダメ。日本教科書道徳中学校2P146台湾に残したもの。台湾を植民地にしたことに変わりはないP142ウズベキスタンの桜。過酷なシベリア抑留を美化してはいけない。P152安倍首相の演説が入っているのは違和感がある。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ㉑ どの教科書も見やすいが、「答え」を書きすぎていると思う。子どもが自由に考えることを大切にしてほしい。内面の良さ、優しさを引き出してほしい。教科として、やってほしい。京都の教育は子どもたちのためである。

行政区：東山区 年齢：71歳

- ㉒ 子どもたちが教科書を使うことでどう学び方が変わっていくのか知りたい。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ②③ 生命の尊重・戦争のおろかさなど子ども達に伝えたいと思う。憲法の大切さも今の学校ではちゃんと教えてもらっていないように感じる。日本教科書社の道徳にはその視点が欠けているように思う。「雨の日のレストラン」は長時間労働への思いが欠けている。「和解の力」でなぜ首相の演説がのせられているのか理解に苦しむ。心のあり方は点数で評価するものではないと思う。日本教科書は採用しないでほしい。

行政区：下京区 年齢：68歳

- ②④ 品行方正な子どもをつくる必要はない。ただし、社会発展のためには子どもは重要である。徳をもった子どもの育成が急務であるが、今の道徳では、それをしえない。教科として、道徳、徳目を教え込み、よりよい日本を

行政区：北区 年齢：72歳

- ②⑤ 道徳は語りかけることが大切だ。教員が板書するだけではダメだと思う。

行政区：下京区 年齢：40代

- ②⑥ 一昨日の朝、NHKで教科書の大判化やページ増でランドセル（カバン）が重く子ども達に負担と伝えていました。2、3週間前？にも朝日新聞でも大きく取り上げていました。今日はキッチンスケールで重そう厚そうな本を測ってみました。廣済堂は520g、学校図書は518gで見ためも大きくて厚い！と思いました。日文出版も判が小さいのに435g光村図書も判は小さいのに420gと他に比べて重く厚く子供たちに負担と感じました。学研は何故こんなに不必要に大きいのでしょうか？中身は良く分かりませんが、京都市やその周辺のことを取り上げている教科書があると良いと思います。以上です。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ②⑦ 学校で教えることは教科であることが大切。子どもたちの意識が変わる。教科・道徳としてしっかりしてほしい。

行政区：下京区 年齢：62歳

- ②⑧ 道徳の特別の教科になるにあたり、その評価は慎重にすすめられるべきと考えます。いくつかの教科書は段階別（数値化）の自己評価らんがあり、評価の趣旨になじまないと思いました。さまざまな人物を扱った教材がありますが、その人物について評価が分かれる場合もあり、きちんとした根拠を求められます。とりわけ、「日本教科書」は現職の総理大臣を扱っており、国民の中での評価が大きく分かれる中で、生徒が学ぶ中立・公正な教科書としてふさわしくありません。生徒のゆたかな心をはぐくむ教科書が、特定の価値を押しつけるのは正しくないと思いますし、生徒が自由な発想でそれでいて人権意識を育てる運用をのぞみます。

行政区：左京区 年齢：67歳

- ②⑨ 道徳は教師と子どもの人間関係が何より大切だろう。教師には、指導の力量とともに、人格的な高まりもしっかりしてほしい。子どもに文章を読ませ、書かせることが意識の高まりにつながる。

行政区：北区 年齢：69歳

- ③⑩ 教育出版中学道徳2 p 162, 7行目「…帝都の窮状を…」は「東京の窮状」又は「首都の窮状」の方がわかりやすい。教育出版中学道徳3 p 150「それでも僕は桃を買う」の中で中国人と福島県産の桃が同じ差別として扱われているが、いくら検査を通っているとしても、それは100B g/k g以下というだけの話だ。いくらかは放射性物質が含まれているのでそういうことを認識すべき問題だ。風評被害ではなく実害があるから避けるべきと思うのではないか。このことは国が1msv/yをごまかすから生じることでありこういう教科書でごまかしを広めてはいけない。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ③⑪ 日本教科書は、伊勢神宮がとりあげられるなど特定のイデオロギーに偏っている印象を受けますので教科書にふさわしいとは思えません。不採用にしてほしいです。そもそも、道徳という教科を、評価をとまなう教科とすることに賛成できません。また、道徳という教科書が必要なのか？とも思います。採用にあたっては現場の教員をはじめ、市民の意見をふまえ、採用の委員会を公開にして下さい。

行政区：左京区 年齢：50歳

- ③⑫ 道徳の教科には反対である。理由がわからない。文科省へ自治体や学校、教員が抗議すればよい。

行政区：左京区 年齢：未記入

- ③⑬ 道徳が教科になると聞き、立ちよりました。先生方がどのように子どもたちに授業をされていくのか、とても気になります。よりよい教育のために頑張ってもらいたいと思います。

行政区：東山区 年齢：50代

- ③⑭ 日本教科書1年生で「何を学ぶか」の頁で集団や社会とのかかわりは個人の尊重より、国や家族との係わりを重視している。2年生の「割れ窓理論」の項で、犯罪をおかす事にその人を取りまく状況を配慮せず、罰則で対処するのはおかしい。寛容さが無い方向へ導く恐れがある。廣済堂あかつき・教育出版は末尾に自己評価表をつけているが、「道徳」を数字で評可するのはおかしいと思う。廣済堂あかつき2年生「国」のところで、王さんの話が紹介され、「日本で国旗が掲揚されるときに座ったままの人がいるのは不思議だ」と言われたのを入れて、国旗への態度を批判しているのは問題と思う。

行政区：東山区 年齢：78歳

- ③⑮ 中学道徳あすを生きる2（日本文教出版）p 47 一人権課題の取り組みについて「日本国内で取り組むべき課題」の項目でおもに次のようなことが課題とされているの項目に「教師のブラックな働き方」について書いてないことになぜだろうと思った。現在の日本で重要視されなければいけない人権課題は「教育」そのものでないかと思う。この文章を始め、道徳の教科書を見ているときれいごとばかり書かれているような気がする。このような文章が生徒たちの心をつかむとは思わない。道徳は実生活にこそ見出し学ぶものがあるはずなのに国民のお金で教科書をつくり教科として学ぶことにそれだけの意味があるのだろうか。これからの動向をしっかりと見て行動していきたいと思う。先生も生徒も負担がすごいやろなああと…。

行政区：左京区 年齢：23歳

③⑥ 教科化された道徳の教科書に興味を持って来ました。内容の多さに驚きました。一年間にこれだけの教材をこなせるのでしょうか。道徳はとても大切だと考えていますが、「教科の」の中におし込めることに疑問を持っています。「教科」に引き上げられたという人がいますが「教科」におとしめられたように思います。読みもの教材が内容充実していることはいいことですが、「話し合い」の道筋が（道徳の価値についての項目があるので当然といえば当然だがそれがよくないと私は思っています）きめられているのが大変息苦しいと思います。自由に読んで議論すればいいし「それどころではない」教室だってあるでしょうし、内容的に気になったのは植民地としての台湾政策の「美化」（日本のしたことへの一面的な見方）と安倍首相（＝今の政治家！！）のスピーチを掲載している「日本教科書」です。これは全くアウトです。

行政区：中京区 年齢：64歳

③⑦ 道徳教育は、自主的判断力を育てるもので、それは日常的な学びと生活体験を通して身につくものと考えます。ゆえに、徳目を押しつけるような学びでは、真に身につくとは考えられません。「特別の教科 道徳」の教科書には、題材の後に「考えてみよう」なり、「学びの道しるべ」なり、書かれています。これは、子どもの考えをゆうどうすることにならないだろうかときぐします。ましてや、道徳ノートが付いている出版社が2社ありましたが、なおさらです。道徳を評価することは、子どもの内面を評価することで、したらいけないことではないでしょうか。クラスの中で、子どもたちが、それぞれの考えを出し合い話し合えるような道徳教育の出来るような教科書を望みます。決して価値観を押しつけるような教科書は採択しないでほしいです。

行政区：左京区 年齢：未記入

③⑧ いくつかの教科書会社から、よく似た題材で取りあつかわれている物があるが、教師がどのように取りあつかい、評価していくのか。時間に追われている学校現場での何を基準に評価していくのが難しいと思う。変にマニュアル化されないか不安に思った。生徒の心の発達が教師から評価されることによってさまたげられないだろうか。不安に思った。

行政区：左京区 年齢：65歳

③⑨ 道徳では子ども達の学習状況を数値ではなく文章で評価することになっているのに22の徳目の達成度を段階別に自己評価させている教科書が3社あります。日本教科書は態度や行動まで自己評価させており、内心を侵害するものです。日本教科書、教育出版、廣済堂あかつきの3社は採択しないでください！！あと、徳目の中に「日本人としての自覚を持って国を愛し」とありますが、日本教科書、あかつきはその徳目の達成度も自己評価させています。クラスの中には外国人の生徒もいます！！どの様に書けと？外国人の生徒への差別を助長する恐れがあると思います。配りょが足りません！！ぜひ上映中の映画「焼き肉ドラゴン」を観てください。なぜ少年は自殺したのか？「日本で生きていくから日本の教育を受けさせたい」という父親の思いにこの道徳の教科化はそれに応えられるものではないです！！

行政区：右京区 年齢：未記入

④⑩ 教育出版中学道徳2ものづくりの町東大阪の計器工場の話を読んだが、テーマがはっきりしていて、高温多湿の地でも狂いがなく評価されていることに製品の制作した会社の社長が

誇りに思えたことなど生徒達にも受け入れ易いように思えるものであった。

行政区：左京区 年齢：70歳

- ④① ①道徳は教科にして評価することは、なじまない。もっと言うなら、評価してはならない。食の安全や環境もんだい、SNSなど道徳でやるものではないと考えます。たくさん、いろんな読みものを、読むのは大事なこと。②日本教科書、廣済堂あかつき、教育出版に掲載されている自己評価は、いらぬ。あえて言うなら、この3社の教科書はつかうべきではない。

行政区：向日市 年齢：62歳

- ④② どの教科書も絵や写真、まん画まで活用して多様なテーマをとりあげ工夫されていると思いました。かけがえのない自分について考え、自分の考えをことばにして意見のちがう人たちと話しあいながら深め、進めていくという大切なことを最初に示しています。こういうことを道徳として上からこうあるべきと教えさとしていくのではなく、学校生活全体でとりくんでいくことが大切ではないでしょうか。一人一人ちがうと言いながら心の中のおもいを表記させしかも自己評価までさせていくのはやりすぎと感ずます。特に日本教科書の態度や行動にできているかどうかまで問うのは個々の価値観や感情を尊重することにはならないと思いました。教科として生き方、感じ方、郷土や国崇高なものへのおもいをとりあげていくことはかつての日本のように国や上の言うことにものが言えない人間・社会をつくることにつながるよう不安をおぼえます。

行政区：向日市 年齢：58歳

<右京中央図書館> 40件

- ① 教科書サイズが大きいことに疑問を感じる。道徳という教科に大きいサイズやノート付は必要であるのかどうか？他の教科でもサイズが大きくなっており、それに合わせて非常に重たくなっていき子どもの通学時に負担になっている。写真や図版が多い教科ではサイズが大きいのは理解できるが、道徳という教科の性格とB5で十分と感ずるわけである。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ② 道徳が教科になり、成績がつくということ。生徒自ら評価させる教科書もあり、成績をよくするために模範的な答えを書いたり、よい評価を書く子もいると思います。そもそも道徳に1つの答えがあるはずないと思うので、1つの答え（考え方）に誘導させるような教科書は、よくないです。「日本教科書」は特に理解だけでなく態度や行動にできているかどうかを自己評価させるのはおかしいです。「日本人としての自覚をもち…」もクラスには他国籍の子もいるはずなので、その子たちはどう思うか？「平和や人類の幸福に貢献…」も「世界平和」のために戦争に参加することが可能になった今の日本では「お国のために戦う」ことを美徳とするようあんにすりこませようとしているようでこわいです。過去の戦争を美化し、美談として（一部分だけをきりとって）物語にしているのも不自然です。子どもたちには正しい歴史認識をもってほしいです。「私たち日本人は…」と問われているのに違和感をおぼえます。子どもたちの実体験、生まれ育った環境などから未来に向けて自分たちで考え、議論してほしいです。決してゼロか100か？みたいに1つの答えにしばられてはいけませんし、まして成績をつけられるなんて無理です。道徳の教科化はよくありません。子どもたちにとっても先生にとっても…

行政区：右京区 年齢：48歳

③ 個人的には光村図書が素晴らしい内容だと思った。「席を譲ったけれど」等他、新聞投稿欄の投稿そして一般読者からの応援記事も掲載され、読む側の気持ちを熱くさせ、良い見本を示しているようである。また、東京書籍に「いじめ」について書かれ、皆でどうすれば「いじめ」がなくなるかを問題にしていたのは、現代社会にはとても重要であると思う。最低なのは、日本教科書であった。「日本人として…」「私たち日本人は…」等、この国際社会になりつつある日本で、この戦時中？のような書き方は有りえないと思う。また、「雨の日のレストラン」は、ブラック企業に勤める若者達を連想させられます。同窓会の後にまた会社に戻り仕事をしなくてはならない社会は絶対に無くさなくてははいけない。過労死する労働者をこれ以上増やす訳には行かない、この『日本教科書』を子供らに与えないでほしいと強く希望します。

行政区：右京区 年齢：54歳

④ どの会社もそれぞれの教科書内のそれぞれのテーマに関するエッセイは大人がよんでも感動的に構成されていて、すばらしい作品ばかりに思えるが、これを読んで子どもたちの意見は、さまざまな思いに分かれると思う。その異なった意見をどのように取り上げ、話し合い、結論に導いていくのか？教師の力量が問われるのではないか？子どもたちの意見や感想を取り上げ、討論し合、まとめるには、50分授業では到底足りないと思われる。家族「愛」とか「尊敬」を教科として教える必要あるのか？「日本教科書」は子どもたちをこう導いていきたい…という意図が端々に感じられて、使ってほしくない！！

行政区：右京区 年齢：未記入

⑤ いくつかあるのを全て見る時間はないので、一般的に普及しているであろう「東京書籍」版と、関連会社（郵便ポストが同一）がヘイト本などを出版しているという「日本教科書」のそれぞれ中3道徳をパラパラと読み比べた。日本教科書が、指導要領に忠実にわざわざ巻末に4段階の自己評価で“国を愛する心、国を発展させようとする心”を生徒に書かせようとしているのに対し、他にも気になることがあるが、東京書籍は授業に取り組んだ姿勢は4段階で問うているものの、主には“自分がどう感じたか？”を問うものになっている。今回、道徳を成績評価の対象になっていくと聞いたが、教科の性格として、これで子どもたちを順番付けすることは無理だと思う。そもそも、これまでそうでなかったものをそうしようとする背景を注視する必要があると思う。最後に一言、書いてある内容もそうだが、人脈やこれまでの出版実績（関連会社含め）を鑑みるに、「日本教科書」社の書物は採用しないで下さい。あと、もっと多くの方が目につくように、正面玄関での案内、掲示も強化をお願いします。

行政区：右京区 年齢：47歳

⑥ 日本人としての自覚をもち、国の発展に努めるをはじめ他のテーマも廣済堂あかつきの教科書は3学年を通じての項目がある。日本人と日本に住む者をひとくくりにしてよいのか、内容として、地球人として、に置き換えてもよさそうな部分もあり、ことさら日本人を強調しているように読める。2年の内村鑑三のことばも日本人の一人としてとタイトルがあるが違和感がある。付属のノートは自己評価をするためだろうが5段階評価をする意味は何なのかそれも何回もある意味はわからない。教科書として分量が多すぎる。重い教科書は中学生の負担大です。

行政区：右京区 年齢：66歳

- ⑦ 個人個人の心に問いかけたり、考えをたずねる点に力を入れているように感じました。日本教科書の教科書は特に。自分と意見がちがう人とどう話を深め、関わりを作っていくか社会生活で大切な力を身につける部分がほとんどないのが気になります。

行政区：右京区 年齢：60代

- ⑧ 侵略戦争を美化するような題材が気になりました。現役首相のことはそのまま掲載するのも政治的にどうかと思います。「二通の手紙」「雨の日のレストラン」など働く人が自己犠牲をすることをよしとするような題材もやめてほしいです。それよりは、働く人の権利や声をあげることの大切さを教えてほしいと思います。また、「国を愛する」「私たち日本人」などの表現も、グローバル社会、多文化社会においてどうかと思います。以上のことから、日本教科書の教科書は採用しないよう希望します。

行政区：右京区 年齢：34歳

- ⑨ 日本文教出版「中学道徳」1年「トマトとメロン」相田みつをのページを読み感動しました。トマトもメロンもそれぞれに自分のいのちを百点満点に生きている一人一人を大切に、みんなちがってみんないい、子どもたちの一人一人の個性をのばしてあげる大切にしてあげられる道徳の授業にして下さい。日本教科書「中学道徳」どのページもせつていが重すぎ、読んでいてつかれました。この教科書で授業を受けた子どもは「道徳」の時間がきらいになるかもしれません。

行政区：中京区 年齢：59歳

- ⑩ まず道徳教育の前に、大人特に政府役人や大臣が文書ぎ造のようなことを、またセクハラ、自分の友人のために法を曲げてしまうことをする等、そういうことを自ら行いを正してほしいですね。こどもは大人の姿を見ています。今のこどもの姿は大人の姿を反映しています。人を大事にする。まず自分を大事にするということが基本だと思います。じぶんを大事にすることがどういうことかつきつめていけば、全てに通じていくのではないのでしょうか。

行政区：中京区 年齢：67歳

- ⑪ 道徳を評価教科とすることに問題がある。非常に判断が難しい・取り上げられている内容に無理がある。日本教科書中学2の「秀明の初ボランティア」「雨の日のレストラン」なども設定に首をかしげる。中学1の「2枚のチケット」も。設定が極端すぎて、現実味が乏しい。もっと身近な話で、こたえは色々あることを感じ、それぞれがしゃべったり書いたりする力をつけてほしい「文教出版」は読みやすかった。

行政区：中京区 年齢：65歳

- ⑫ 「二通の手紙」小学3年生と3、4歳ほどの姉弟を保護者なしで動物園に入れた元さんがルールを守らなかったことから停職処分を受け、さらに晴れ晴れとした顔で自ら職場を去っていったとある。「決まりを守ること」と「人を助ける思いやり」とをめぐるシーンは、私達の日常で誰にでも起こりうることである。もしも、今回のようなケースが現実には起こったら、周りの職員は、同僚（仲間）である元さんを守ろうとするのが自然だろう。労働組合があれば、団結して処分を不服として、たたかうのが普通である。それなのに、「晴れ晴れと

した顔」で職場を去っていくという、あたかも「美談」かのような結果で終わらせていることは、不自然であり、大きな疑問を感じる。上からの命令には文句を言わず従うどころか、自らの責任として受け止めなさいと暗に命じており、そういう意味で大きな問題を学んだストーリーと言える。道徳の教科書として不適切と言わざるを得ない。※道徳的な話は、身の回りで現実に起きたことを題材にそれぞれの教室で行われるべきであろう。

行政区：右京区 年齢：49歳

- ⑬ 中学3年道徳「日本教科書」伊勢の神宮こころのふるさと…我々は自然の恵みや人々の思いなどに支えられながら生かされています…とあるが科学的でない生き方と思うが、これを考える時点数をどうつけるのか疑問です。中学1年道徳p28父の教え「いいか、志が大切なんだぞ…世の中のどんな役に立てるか何度も何度も考えるんだ」国のために役立つことを良しとする…これが良い子？

行政区：中京区 年齢：66歳

- ⑭ 日本教科書道徳中学校1p169「いのち」のつながりについて30代さかのぼれば21億人を超える祖先が自分の「いのち」をつなぐために存在していたなんて全く非科学。何代かさかのぼればA君とBさんの親は同一人物である可能性、20代さかのぼれば確実。30代さかのぼれば平安時代。平安時代に21億人。へえ？おかしいこんな例を平然と出す教科書会社信用ならん。

行政区：左京区 年齢：65歳

- ⑮ 中1道徳日本教科書p16「オレは最強だ！」…オレは最強だ！と思えば実現するという発想は一面的。p120「仕事と心」…何かよくわからないが、納得できない。仕事に「優しさ」は必要なのだろうが、今の日本の職場の多くは、そんなことを考えていられないような厳しい労働条件の中にある。その事を取り上げずに、「仕事には優しさが必要」と言われても、片手落ちなのではないか。全体として、どの教科書も問題があり、子どもの心进行评估することは大きな問題だと思います。結局、道徳を教科にしたことが間違いなのだ強く感じました。

行政区：右京区 年齢：68歳

- ⑯ 道徳でも真理・真実を大切にしてほしいです。侵略戦争を賛美したり、憲法に保障された人権や民主主義をないがしろにしているような教科書は採択しないでほしいです。（日本教科書）先生たちが今、教えている子どもたちに合わせて適切な教材を選べるように、教科書にしばられることなく授業ができるようにしてほしいです。道徳の教科化はやめてください。

行政区：右京区 年齢：67歳

- ⑰ 子どもの心进行评估することは、重大な問題です。道徳を教科にしたことの問題を強く感じました。道徳の「教科化」は、反対です。

行政区：右京区 年齢：70歳

- ⑱ 道徳は、単に教科書で学ぶだけでなく、日常の生活の中で起きる出来事の中にも教材となるものが山とある、いや、実際にはその方が多いと思う。先生達が状況に応じて教材を選べるよう配慮が必要だし、評価をする必要は感じません。出版社によって、ずい分打ち出し方

が違うと思った。ひどいのは「日本教科書」で、頁の最初から（p 4～p 5）“学び”をおしつけられている気になってくる。その点、「教育出版」や「日本文教出版」「東京書籍」は、幅があり、全体に柔らかい（柔軟性がある）。

行政区：右京区 年齢：71歳

- ⑱ どの教科書も文科省の道徳指導項目に沿った内容（検定だから当たり前ではあるもの）で、国が決めた道徳価値を子どもたちに押しつけるものです。子どもたちを“鑄型”にはめてはならないと思います。改めて道徳を教科化してはならないと思います。教科書会社の中には、別冊ノートをつけて、書き込むものなどありますが、それが評価に使われるとなると、生徒は先生に気に入られるような内容を書くことが予想されます。生徒たちが現実生活に即して自由に意見交流できるよう配慮すべきです。“日本教科書会社”版は、著しい異和感があります。シベリア出兵の裏の美談や植民地における美談はもってのほかです。さらに現職の安倍首相の演説など教科書としてふさわしくありません。採択されるべきではありません。

行政区：右京区 年齢：73歳

- ⑳ 中学校道徳2の14才の責任は、14才になると法的責任がある、犯罪者になると一生立ち直れない。人生が終わってしまうような気持ちにさせられました。190ページにある自分のレベル判断は、大人の私達でもなやんでしまう所があります。中学生くらいでしっかりと判断力をつけるためにはみんなで話し合いお互いの気持ちを大切にすることを学んでほしいと思いました。

行政区：右京区 年齢：未記入

- ㉑ 日本教科書（中2）十四歳の責任悪いことをしたら「二年程度少年院に送られる…」「賠償責任がある…」脅しで十四歳の子どもたちに何を伝えたいのだろうか。映画「万引き家族」では社会のひずみのすき間に落ちた少年が、生活の安定と生きる力をつけていく周りの支援で、人間に対する見方を深くしながら、新しい生き方を見つけていくことが描かれていた。社会の矛盾の中で生きる子どもたちに、さまざまな視野をもつことを知らせていくことが社会の責任ではないかと思った。追いつめるのは教育ではないのではないだろうか。

行政区：右京区 年齢：71歳

- ㉒ 私の個性、それを高めていくためには、夢、それを実現させるには？この道徳のノートに私だったらどれだけ書き込めるだろうと…書いたとしてもそれを人にましてや大人である先生になんて読まれたくない、と思い、きっと書かないだろうと感じました。すばらしい問いかけや文章が並びますが、私たちが文学や物語、映画人生に求めているものとは違うなあという違和感を感じます。特に中学生というナイーブな時に徳目的な人間の見方、出来事の見方を「良い」としておしつけてしまわないか心配です。人からあたえられた問いかけでなく自分の問いに、本気で悩むことが、たとえ答えが出なくても…それが大事なことはないかなと思います。手本となるべき大人たちの不がない姿を毎日テレビで見ている子どもたちも上べと本根を使い分ける大人になるのではないかと心配です。道徳をするにしてもノートへの記入やそれをもとにした評価はやめていただきたい。

行政区：右京区 年齢：64歳

㉓ すごいわかりにくくなかった。

行政区：未記入 年齢：8歳

㉔ 教科になると聞いて、道徳の教科書を見にきました。どれも工夫されています。このような教科で学ぶ子どもたちには素晴らしい成人になってもらいたい。教科として学習が充実するよう祈ります。

行政区：右京区 年齢：60歳

㉕ 日本教科書道徳中学校3伊勢の神宮，国家神道の宗教施設のみを扱うのは憲法20条の信教の自由からしても不適當。キリスト教，仏教にも感謝祭はある。式年遷宮も1300年続いているわけではなく，切れ切れに行っている。嘘は書くべきでない。日本教科書道徳中学校1ニッポニア・ニッポン，学名が残っているだけである。日本の鳥としては絶滅しているので，そのように書くのは不適切。

行政区：未記入 年齢：未記入

㉖ 日本教科書道徳中学校2，p146台湾に遺したもので，日本が台湾を植民地にしたことが根底にあり，日本語の教育をし，日本の神社を造り，日の丸を振らせた事を教えるべきであり，日本語を強制した教師を美化してはいけない。日本教科書道徳中学校1，p153大地一八田與一の夢，上記と同じく，日本が台湾を植民地にしたことを教えるべきで，50人以上の犠牲を出した監督を賞賛するべきことではない。日本教科書道徳中学校3，p126なせば成る，「質素儉約」も行きすぎると強制となり，健康を害する。精神論だけで「なせば成る」は不可能なことを強制させるので不適當。

行政区：未記入 年齢：未記入

㉗ 教育出版中学道徳1，受け継がれる博愛の精神，日本が太平洋戦争時「鬼畜米英」と教育したことを考えるとロシア兵墓地の話は違和感がある。日本軍の捕虜虐待やパラシュートで降下した米兵殺害等と合わせて学習すべきだ。教育出版中学道徳3，それでも僕は桃を買う，桃を買わないことが無知のための風評被害とされているが，実害を伴ったもの，つまり100B g/k g未満の安全でないものまで安全とされるのだから，風評被害ではない。危険だと思う人を差別してはいけない。風評被害ということに誘導し，本当に困っている人を差別することは許されない。

行政区：未記入 年齢：未記入

㉘ 特別に道徳の時間，教科書をつくって行なうことが，本当に子供たちにとって良いことだとは思えません。さらに自らで自己評価することをもとめることは，子供たちに非常に重大な精神的に重大な負担をかけることになり，自らを否定することにおこむことになりはしないかと心配します。「脳の本能」で「生きたい」「知りたい」「仲間になりたい」を育てるのは，日々の「教育内容，時間など」すべての中にあると思います。その中で，子供たち自身が自らの成長の中でこそ，道徳を学んで行くものと思います。

行政区：右京区 年齢：70歳

㉙ 「道徳」という内心に関わることを教科として教え，評価することそのものに疑問を感じています。来年度より中学校で使用される各社の道徳教科書を見比べてみましたが，全体的

に規範意識を持つことが強調されているように感じました。特に日本教科書社のものには違和感をおぼえました。この教科書は巻末に「中学生で身につけたい22の表」を載せて4段階に評価させ、強引にひとつの価値観に導くような編集がされています。ほかの教科書にはないものでした。愛国心をもち、日本人としての姿を一定方向に導き、決まりを守ることが絶対という価値観にとっても危惧を感じました。これでは探究心も思考力も育ちません。言われたことをそのまま受け入れ、周りと協調して行動することが大切だと教える教科書（日本教科書社に著しい）を決して採択されることの無いよう望みます。

行政区：右京区 年齢：69歳

- ⑩ 各出版社とも同じ題材のものがあります。でも中学生にとって年令そして今まで自分の生き方とてらしても幼稚な内容だと思います。そして歴史を無視した内容のもの、特に台湾の話など日本人がしたことを美化して、台湾を侵略したことなど抜けているものもある。白菊、和解の力のところでは現職の国会議員の談話をのせるなどおかしいと思う。一つの価値観を教えることは間違っているし、十分に話し合ったり多様性を認める内容であって欲しい。又、道徳とは、点数化したり、心の内面まで評価することはおかしい。国際社会の中で生きていく未来の大人になる為にはしっかり日本の歴史を真正面からみつめる内容のものを選んで欲しい。

行政区：右京区 年齢：70歳

- ⑪ 道徳の教科化に対してはおかしいと思います。ひとつの規範にむけて誘導するような教科書を使いそれを評価し成績までつけるとは、まして、自己評価させ誰かに気にいるような評価になったり、先生が評価することも問題だと思う。我国の伝統と文化の尊重、国を愛する態、遵法精神等押しつけるのは賛成しかねます。ウソをつくのはよくない。道徳のことをいうならまず国の上で働く人から守るべきではないだろうか。

行政区：右京区 年齢：70代

- ⑫ 加計問題、森友学園問題、明らかに誰かがウソをついている。総理夫人も関係していると思われる。いづれにしてもきちんと審議をつくさなあかんと思うのに証人喚問も何も真相が明らかにならない。こんな政治（大人）のもとで、子供達にどんな道徳を学ばせるのか。道徳は、平和を希求し、みんなが幸せになれる様な社会にしていく事を努力していくなかで身につけていくものではないのでしょうか。教え込むものではない。

行政区：右京区 年齢：72歳

- ⑬ 中学1年生の道徳教科書を見ました。多くの項目があり大人でも考えて行動出来るのかびっくりします。どうやってせいせきをつけるのでしょうか疑問に思います。とくに日本教科書は。自分で学びのレベルをつけると言うのはむりです。心はゆっくりと自分で成長させるのは、一生かけるのではないのでしょうか。とても窮屈に思いました。これは、さいようされればとても自分らしくいられないと思います。

行政区：右京区 年齢：71歳

- ⑭ 道徳が教科になるということで見に来ました。どの教科書もカラフルで楽しい感じがしました。どんな授業となるのか、楽しみにしています。

行政区：右京区 年齢：45歳

③⑤ いろんなエピソードが抽出してありますが，社会的歴史的背景にふれずに，心情のみで書かれたものもあり，これでは国の検定教科書を使って特定の価値観を生徒におしつけてしまうことになるのではないかと不安になりました。せめて徳目の達成度を生徒に「自己評価」させることだけはしないでほしいと思いました。日本教科書，廣済堂あかつき，教育出版は採択しないでほしいと思います。

行政区：北区 年齢：68歳

③⑥ 国が特定の価値観を押しつけることになってはいけないと思います。内容項目についても憲法が最も大切にしている人権についてのあつかいが，言葉にはないし，題材として少ないと感じます。どの教科書もです。教える教師が教材を選び，自分で考え今の子どもの課題に合う授業を工夫できるようにする必要があると思います。その中で，はじめて子どもと相方向の授業ができ，自ら考える子どもを育てることができると思います。

行政区：右京区 年齢：56歳

③⑦ いい子のおしつけのように感じる。現実から遠い気がする。生活に根ざした，現実から出発した話し合いが大切ではないか。

行政区：未記入 年齢：未記入

③⑧ 3社の教科書を拝見しました。2社に「二通の手紙」がありました。この内容に子ども達は何を学ぶのか疑問です。元さんの辞職が潔いとも，元さんのために何もしなかった仕事仲間の職員が，何も後悔していないことも，不思議でなりません。「日本教科書」は第2次世界大戦の日本を肯定しているのでしょうか。戦争への反省もなく，ごく一部の善行を取り上げている上に，中身のない安倍首相の演説までのせています。お手本となるべき人とはほど遠い人の名前を道徳の教科書に載せないでほしいです。子どもたちもニュースでどんな人かわかっています。

行政区：右京区 年齢：59歳

③⑨ 「日本教科書」の本で，紹介されている人物の行いそのものを否定はできないが，その行為の背景にある政治状況ぬきにかかれてるのが気になる。それがわかりやすいのは1年生で出てくる「八田與一の夢」日本の植民地支配下にあったできごとであることをもう少しはつきり書くべき。日本教科書は他の学年でも徳目の押しつけ感が強く生徒が自由に考える“よち”をうばっている。巻末の自己評価を4つのレベルでさせているがこれも??この教科書は絶対採択して欲しくありません。“個人の尊重”を重視した指導をおねがいします。

行政区：右京区 年齢：73歳

④⑩ 日本文教出版中学道徳1，p62花火に込めた平和への願い，太平洋戦争が日本軍の奇襲攻撃で始ったことは書いてあるが，それが日中戦争に行きづまり，石油を求めて開戦したことは書いてない。また，単なる奇襲攻撃でなく，宣戦布告なしの奇襲であったことも書いてない。日本教科書道徳中学校2，p148白菊，上記と同じ記事であるが，こちらは単に空襲になっており，ひきょうにも宣戦布告なしの奇襲であったことは書いてない。後に安倍首相のザンゲの言葉もない。ゴマ化しの演説を掲載しているのは責任のとれない日本を教えようとしているのか。違和感がある。

行政区：未記入 年齢：未記入

＜中央図書館＞ 1件

- ① ストーリーが短くまとめてあると、意図的になってしまいがちである。少し大変かもしれないが、省くことが少ない方がいろんな見方がでて来ると思う。伊勢神宮については要らないと思う。教科となって評価の対象になるのは如何かと思う。自由に意見を出しあって結論は個人が考えるべきだと思う。

行政区：上京区 年齢：64歳

＜京都市生涯学習総合センター山科＞ 0件

＜左京図書館＞ 8件

- ① 道徳という教科をどうとりくむかはとてもむずかしく厳しいものだと思う。ウソや人をだますことはいけないというふうなことをどうやって教えるかは学校教育だけの問題ではないと思う。まして教科書となると、こんなの必要？と疑問に思わざるを得ない。「銀色のシャープペンシル」「仏の銀蔵」などいくつかの教科書に載せられていたが決していいものではない。すべての子どもが学ぶ教科書、どういう中味にするか、国民的議論があると思う。そして、この場所スペースではしっかり読むこともできない。「展示しました」というアリバイ作りのためとしか思えない。もっと広い場所でしっかり読めるように広く市民に知らせてほしい。

行政区：左京区 年齢：67歳

- ② 全部の教科書は見られませんでした。いくつか気になった教科書がありました。1つは日本教科書の2年生用、はじめにのっている「十四歳の責任」です。少年法について細かく書いてありますが、中学2年生の道徳の導入としてはとても違和感というか、暗～い重い気持ちにさせられますので、やめてほしいと思いました。「白菊」や「和解の力」は道徳の教材として不適切と感じます。度の教科書にも自己評価があるのはなぜなのでしょう？「中学生で身につけたい22の心」とはどんな根拠にもとづいているのでしょうか？小学校でもそうですが、中学生でも道徳を教科化することには反対です。年齢に合わせて、善悪の判断や社会のきまり・ルール・命の大切さ・自分を見つめること、国や世界のこと…などを学んでいくことは大切だと思いますが、教科として子どもたちに教えるというのは何か違う気がします。1人1人の人権や自由が大切にされることを望みます。教育に国が介入しすぎだと思います。こわいです。

行政区：左京区 年齢：未記入

- ③ 道徳という個人の内面にかかわるものごとを教科として学ぶのはとてもむずかしいと思います。ましてそれを評価するのはいかがかと。個人を大切にすれば、いろんな意見が認められるべきだし、一つの方向に意見や気持ちをまとめるのは無理があります。さまざまな意見を出しあうのはいいと思いますが自分であれ、教員であれ、評価するのは反対です。

行政区：左京区 年齢：71歳

- ④ どの見本も数ページの文章を読んで考えさせるものだが、とても違和感がある。心に響くものも、そうでないものも当然あるが、どう答えれば評価が高くなるのだろうか。短い文章から即時に考え、言葉にして表わし評価を得る。“道徳”とはそういうものなのか。これでは自由に考え議論する力が養われるとは思えない。特に日本教科書には出典不明の文章も多

いが執筆者が創った文章なのか。だとしたら特定個人の、社会的に認知もされない人の思想の押しつけにならないか。また、日本教科書（中学2）の「白菊」や安倍首相のスピーチには、戦争を起こした国としての責任が全く感じられない。過去を忘れ手をつないで未来に向かう、と言えるのは被害を受けた方（この場合、米国がそれに当たるかは別として）で加害者が言うことではない。台湾についての文章も日本の過酷な統治のことに全く触れていないのは、子どもたちに与える資格のない文章ではないかと思う。すみやかな道徳教科化撤廃を要望します。

行政区：左京区 年齢：60代

- ⑤ これらの道徳教科書を読んで、一番考えたことは、「結論が一つの方向に導かれている」「何かおかしい」ということです。子どもたちはちがう環境のもとで生まれ、育ってきて、一人一人考え方や価値観がちがっています。他人の考え方や価値観について、意見を交わす中で互いに影響されあって、子どもたちは成長していくのだと思います。道徳を「教科」として成績をつける様なことはまちがっています。人が感じ、考えることに点数をつけることはまちがいです。受験競争が激しくなるもとの、高得点を得るために、どう解答すれば正解か？対策がとられ、子どもたちの思想や感じ方まで一方向へ導こうとする教科書は採択しないで下さい。全ての道徳教科書採択に反対です。

行政区：左京区 年齢：47歳

- ⑥ ①まずご検討頂きたいことは、「心を評価」する道徳教育そのものは形を変えた修身では？戦前の学校教育のあり方からの反省の上にたって、1人1人の個性が生かされ、人間としての人格形成の場で多様な結論が導き出されず、かなり「こうあるべき」風な事が評価できるのでしょうか。道徳教育が教材として導入される事そのもの、国民的理解が得られていないです。②全体的に、考え、討論し問いに答え書かせることを通して徳目を押しつけている感がします。③現実の今国会での政府のウソ、インペイ、ギゾウ、子どもたちの目にも国民の目にも現政府のメンバー道徳意識しているか？と思っています。

行政区：左京区 年齢：69歳

- ⑦ 専門職の職人の生き方を教材に取り上げ、発想や努力について考えさせようとしている。特に戦争時の苦難時、本質の戦争について1つもふれてない。そもそも道徳を評価する事に無理があると思います。

行政区：左京区 年齢：68歳

- ⑧ 道徳を教科化することに、どうしても納得がいきません。道徳の時間は、ひとつのテーマをもとに自由かつ達な議論がされるべきだと思います。今回の教科化を決めた人々は、「議論する道徳」を強調しているそうですが、それなら何故、教科化し、「評価」をするのでしょうか。真逆だと思います。評価することにより、こころの在り方、それによる行動をどうしても子ども達に押しつけることになります。いろいろ教科書を読ませていただきましたが、「日本教科書」は、特に、使用してほしくないです。安倍首相の演説が載っていましたが、戦争への反省が感じられず誠意のない演説だと思いました。また、子どもたちに自己評価させる表がついていた教科書もありましたが、これも、増々、子どもたちのこころを追いつめるもので使ってほしくありません。

行政区：左京区 年齢：46歳

<伏見中央図書館> 6件

① 見本本もすべてかどうか不明で、小学校の教科書はないのでしょうか？展示されている本を見る限り、エピソードというか話題が提示されている。そして視点について話し合いや感想を書くことが求められている。道徳の教科書というこのようなパターンしかないかという思いもするが、実生活や学校生活の中ではパターン通りではない。過日の新幹線内の殺傷事件は「命を大切に」だけのパターンでは計りきれないほど複雑な事件である。教科書があれば、先生はそれを使わざるをえないと思うが、その内容はあくまでも話題であって、実生活に根ざした、本音での子ども達の思いの表出をどれだけ学校が可能にするかが問われていると思う。そして本音を出したAという子どもの思いが評価が低くBという教科書のテーマに即した思いを出した子の評価が高くなれば、本音を出したAという子どもは二度と本音を出さないと思う。

行政区：伏見区 年齢：66歳

② 道徳的なことは教えることは必要であるとは思いますが。でも評価がともなう「教科」のあつかいについてには反対です。①本来の教育学の位置づけでは第二領域の中に位置づけられるものです②また発達段階を考えても、中学の時期は大人への反感やのりこえたい思い思春期をむかえます。この時期にこういう“評価”を本人がした場合の配慮はどうなるのでしょうか？その点でも“反対”です。以上がまず前提としてあります。各教科書を見て感じるのは「物語り」を一つ一つの“徳目”（ねらい）に合わせてよみやすくしようとしています。（スポーツ選手等）しかし、“がんばれ、がんばれ”の精神が強く感じます。それが全体をとうしてです“徳目”にそった“がんばれ”なのです。それとA、B、C、Dにわかれている内容についてですが、特にCについては現在の子どもの生活実態とかよりかけはなれている。リアリティーという点で疑問です。例えば「家庭」その条件は様々で今子どもの貧困親の仕事のしんどさを考えるなら、内容として入れることもがより配慮が必要でかえって子どもの心を傷つけるものになり授業する側との思いがよりかけはなれているのではないかと思われるものもありました。Cについての“教材内容”全般が大変“大人のおしつけ”を感じやすいものになっているように思います。またDについても大事な観点もありますが“畏敬の念”というのは教える内容ではないと思います。教科書の中にはノートがついているものがありますが、それは“答え”に合わせていくようなノートになっていてほんとうに自分の体験や身のまわりのことから学ぶということにはならないように思いました。教科書の中でその面のつよいのは「日本教科書」で復古的だと思います。私は障害児教育をしてきましたので「障害理解」ということは中学校段階ではもっと科学的に教えられると思います。“旗振り”だけのあつかいはぜひやめてほしいと思います。弱い人達の立場を大切にすることは大切です。でもそれを学んでいくのは机上でなく日常の生活の中や教室の中で日々おこることを集団的に考え、いろんな意見を出しあいながら（全面否定するのではなく）何が大切か学びとることが大切だと思います。“本”をみて教科というあつかいに疑問ですH・R等での人権教育や時間をかけた行事等のとりくみの中で一人一人の個性が活かされるような教育が大切だと思います。

行政区：伏見区 年齢：66歳

③ 学問にもとづかない道徳を教科にし、内心を評価することは、大きな問題を生む事となると危惧致します。相手の評価を一書に気にし、そこに気にいられようとす様な人間を学校教

育自らがしてしまう。まるで、日本大学のアメリカンフットボール部の一連の問題のように、上意下達で自分自身の意見や考えをきちんと意思表示出来ない人間をつくりあげてしまうのではないかと大変危惧し問題に思います。「いじめ」の問題でも罰せられるからやっではいけないといった脅しで言ことをきかせるのでは無くなぜ「いじめ」が起こったのかを深く探っていき、いじめた側もいじめられた側も両方がその問題に向かい合い人間として大きく成長出来るそんな手助けを学校教育には強く求めたいです。

行政区：伏見区 年齢：42歳

- ④ 子ども達の実態に合わせて授業が進められる事が大切だと思います。十分議論がされて、価値を教え込む事にならないように期待します。広域の採択も見直す事も必要なのではないでしょうか。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ⑤ 市民道徳は必要だと思っています。それでも、道徳を教科化し、評価することには不安を感じます。道徳教科書の中には子どもたちにも考えてほしい内容もありましたが、一つの考えや方向性を持たせてしまう、押しつけてしまう編集になっているものもあるように思いました。国際貢献のページでは、現政府の主張のみが書かれている部分も気になりました。授業でどのようにとり扱われるかなど、心配が残ります。

行政区：伏見区 年齢：65歳

- ⑥ 自己評価するのは、とても難しいし、価値感も多様であっていい場合もある。従って、これが正しいと押しつけるような内容にならないようにして欲しい。日本教科書は文章表現がかたくなるしく思った。今の中学生にもう少しわかりやすい表現がよいと思った。自分を評価、数字や記号で表すのは、やめて欲しい。

行政区：伏見区 年齢：60代

＜東山図書館＞ 1件

- ① 近くの図書館で展示されていたため、アクセスが良く、仕事帰りに立ち寄って見ることができ良かったです。

行政区：東山区 年齢：40代

＜吉祥院図書館＞ 4件

- ① ・特に中1のものを全体に見ました。気になるものは2年、3年のものも見ました。学校図書「輝け未来」1～3年のテキストは法や決まりを強調していると感じました。自己を作っていくこと社会の中で生きられるようにすることだと思のですが、がんばることが一番の様に思えました。3年の版には明石康さんの話にはカンボジアへの海外派遣が語られていましたが、戦後の「戦争放棄」がどの様に広く支持され望まれたかということには触れていないのはおかしいのではないのでしょうか。東京書籍も教えてあげます風の物語が目立ちました。・「学研」と「光村出版」「日本文教出版」の本は漫画もあり、挿し絵もあり、「よりよく生きる」ために考えてみようという風に編集されていて良いと思いました。・格差と貧困の広がっている社会と言われている現在の日本です。日本教科書版のように、ショートストーリーをで、ほとんどを構成されている教科書では、子どもたちは現実とむすびつけて考えられるのでしょうか。疑問を感じました。教訓ばかりでなく、怒りや差別について考える討論

の出来る教科書を希望します。・セクシャルハラスメントは今、日本のこれからにとって大切な課題と思います。LGBTの記述は少しありましたぐらいでしたが、この問題を含めて、もっと記述されるべきものと思いました。

行政区：南区 年齢：71歳

- ② 中学校教科書に道徳科目が出来るというので拝見しました。小学校とちがい、中身の内容が深くなっていますね。ただ主題にそってえがかれているので過去の歴史の経過などが軽視されています。特に日本教科書がパールハーバーの安倍首相の演説をのせていたのが気になります。戦争へのとらえかたについて個人の友情、和解ばかりめだち平和の大切さを教えるのに欠けていると思います。大切な中学時代の子どもたちへ教える内容は、もっと考えるべきですね。

行政区：南区 年齢：未記入

- ③ 例文としての物語として読み、子どもたちに色々考えさせる、という事は良いと思うのですが、「道徳」というのはいろんな考え方など自由に出し合えるものではないかと思います。1つの決まった方向に導き出されていないか不安はあります。(正解はないのではないか?)…数学や理科のように、生命や自然・崇高なもの、国土愛などいろんな経験、学びの中で生まれてくるもので教えるのはむつかしいだろうと感じました。日本教科書2年の中に、安倍首相の演説の引用があり、教科書会社の採用の付度(?)ではないかと感ぐってしまいます。・何よりも現場の先生方の意見をしっかり聞いた上での教科書の採用をお願いします。

行政区：南区 年齢：70歳

- ④ 子どもたちに「道徳心」を育てることはとても大切なことだし必要なことですが、道徳を教科にして評価すればそれが育つことになるのかは大いに疑問です。むしろ、よい評価を得ようとして、表面だけ「道徳的」な答をする生徒を増やすのではないかと危惧します。・「日本教科書」について一各教材の最後にある設問がある一定の方向の答を要求する、誘導するようなものになっている。多様なものの見方・考え方をなくしてしまう。巻末の「自己評価」欄は数値で表わすようになっていて道徳心に数値評価はなじまないのではないか。・「廣濟堂あかつき」について一別冊のワークシートはパターン化した答を書かざるを得ない形式になっている。数値評価欄も良いとは思えない。道徳の教材とはあくまでも考える「きっかけ」としての材料であってそれを通して何かを「教え込む」ものではあってはいけないと思います。心にひびく教材が、子どもの心に何らかのインパクトを与えることができればそれでいいのであって、同じ教材でもそれを通して感じることは一人一人違ってよいのではないかと、むしろ「同じように感じる」「同じ結論を出せ」というのはおかしいと思います。戦前の「修身」のようです。道徳を教科にすることはそもそも無理があると感じました。

行政区：南区 年齢：61歳

<醍醐中央図書館> 13件

- ① 「道徳」が教科になり成績がつくということで教科書をみにきました。そもそも「心」に成績がつくということはおかしなことだと思います。個々の心を他人が評価などできないのでは。何か同じ考え方を強要する様な教育がおこなわれていく様でこわい気がします。現場の先生方の声もしっかりきいて採択してほしいとねがっています。

行政区：山科区 年齢：未記入

- ② 短時間にとばし読みしかできず、「意見」というほどでもないのですが…「道徳」の限られた時間に中学生が何を学びとるのか、先生方が「教える」教科書から「学ぶ」こと以上に、子どもたちが自ら考え成長してほしいと願います。大切なのは、「自分という存在のかけがえのなさを実感する」「他の人もかけがえのない存在だと実感する」「他者とのかわり、社会の中での自分のあり方について深く考える」ことかと思いました。各教科書の読みもの教材は工夫しておられると思いました。「読む」ことに抵抗のある子どももいるでしょうし、短いながらも「考える材料となる」のは難しいですね。「学研」「文教出版」読みやすい教材が多いと思いました。「日本教科書」は子どもの目線に合わないおしつけがましさをやや感じました。中3の最終の読みもの、暗くて、あと味の悪さが残りました。

行政区：伏見区 年齢：60歳

- ③ 通学時に教科書等が重くて児童生徒の負担になるとのニュースがあり、心配している。ゆとり教育の見直しで教科書の頁数が増えているとのこと。教科書会社も配慮してもらいたい。

行政区：伏見区 年齢：未記入

- ④ 道徳を教科書として編集し、授業にとり入れるのは、なぜ？と、思います。教科となれば、評価もされてしまう。いい点をとるために。どの答を出せばいいか？考えるのは当然のことです。わざわざ教科にしなくても、日常生活の中で、考えるものではないでしょうか？道徳の教科化に反対します。道徳に成績をつけるのは押しつけになります。

行政区：伏見区 年齢：58歳

- ⑤ ①まずは「道徳」の教科化について→専門となる学問的体系にもとづかない「道徳」を教科にして、“評価する”ことはとてもキケンです。心の中を評価するのでしょうか？子どもたちの豊かな心を育てることと逆行すると思います。②教科書そのものについて（多くのことを思いますが）もっとも採択してほしくない「日本教科書」について述べます。ア）中1：「オレは最強だ！」→パラリンピックは多くのことを教えてくれるし、国枝さんはすばらしい人だと思います。ただ、他にも多くのアスリートのサクセスストーリーは教材につかわれていますが、その「成功」に光を当て、それから何を学ぶか、という根性ものにしているのが気になります。“多様な生き方”“多様な考え方”を学びみんなで考えよう…としながら1つの方向に考え方をもっていこうとしているように感じます。イ）中2：「武士道」のこと（p49）皇室関係の写真（p95）“白菊”の花火の話（p148）など一つの方向性を示している教材が多い。「台湾に遺したもの」（p146）もしかり。ずっと昔、戦前に台湾で教師をしていた人が、戦後教え子たちと再会し、「日本語で感謝の気持ちを伝えてくれた。感動した！」と話していた事を思い出しました。過去の日本（その一員であった人）がおしつけた植民地支配を反省するのではなく、よろこぶという、無知にもとづく誤った歴史認識を、次の世代におしつけるのか！とびっくりしました。ウ）中3：静岡出身の私は、京都へ来てしばらくは富士山をよく夢に見るほど好きでした。でも、この教科書（p14）の「富士山を語る」は、戦前の「富士は日本一の山」に通じるものがあります。また、杉原千畝のとり上げ方（p84）も、当時の歴史の中で語らなければその意味を理解することはできないのに、「これほど多くの人たちにビザを出すとは」許されない…などと、わけのわからないことを書いています。異なる人物話にすりかえようとしているのでしょうか？日本の侵略戦争を美化するヘイト本を出版する、特異な歴史観をおしつけようとする。そういう＜反道徳的な思想＞をベースにした出版社の「道徳教科書」はゴメンです。子どもたちの基本的人権人間の

尊厳を守り育てる教科書を！！（キタなくてすみません！）

行政区：山科区 年齢：75歳

- ⑥ 中学校道徳の教科書を拝見しました。著名人や有名なエピソードについて書かれた文章、あるいは学習する生徒と同年代の少年少女が主役となる作品が多く、生徒には読みやすく感情移入しやすい教材と感じました。一方、「社会道徳のあるべき姿」を恣意的に浮かび上がらせ、そこに当てはまらない行動や考え方を強く非難し排除するような論調が見受けられるものもありました。指導側が一方的に規範を定めることで生徒の自由な発想や議論の深まりを妨げるおそれが否定できません。

行政区：伏見区 年齢：35歳

- ⑦ 教育出版とびだそう未来へを拝見した。知り合いに聞いた疎水について書かれた作品が見たかった為である。子供時分学校で習ったと思う。今もきっと教えているのだと思う。京都の人間にとって疎水は知っておかなければならないことがらである。この事業を成し遂げたのが若い技術者であることそしてその経験のない人物に事業をまかせたこと。この事実は今では（当時でもそうだったそうが）考えられないのではないか。学問を学び人々の為に活かそうとする。中学生に学んで欲しいのはそういう姿勢である。道徳で勉強することがらはたくさんあるだろうが、生きていくための目標であったり活力などは何をおいても学ぶ必要のあることである。そう思う。この作品の面白かったのは水流の方向から水路が人工物であることを知り調べていくという流れである。昨今の小中学生（高校生、いや大人もそうか）は街を歩いても回りのいろいろなことがらに興味を示さないように感ずる。スマホなど見ているはおかしな人間になってしまう。そのことを教えるにもよい作品であると思う。

行政区：伏見区 年齢：55歳

- ⑧ 中学生も大人もよりよく生きるために考え議論し、一定の判断をして行動することの大切さはよく理解できる。しかし、どの教科書も、考える方向性としての価値があらかじめ決定され、その方向性や枠のなかでしか、考えさせないような教科書でよいのだろうか？人間が生き方を他人に教える（しかも教科書というモデルを提示して）ことの危険性に思いをめぐらせる必要はないのだろうか！日本という国は同調性（人と同じであることを求める）の強いところがある。そのような国にあって、政府が定めた学習指導要領という枠のなかでしか考えられない子どもたちを育てようとしていることに疑問を感じる。本当の意味の主体性、自分で考えるということは、このような教科書の枠をとびこえたところで行われる行為であると考え。 (日本教科書という会社が人を差別し、人権を侵すヘイト本なども発行している会社と関係していることも付記しておきたい)

行政区：山科区 年齢：57歳

- ⑨ 道徳を学び、評価することには賛成できない。学ぶ立場、教える立場からも評価につながることは、いろんな意見を学び合う、1つの考え方もあれば立場によっていろいろ考えても良いのだと思うことを否定する。廣濟堂あかつき社は心のノートもあり、考え方の方向を一方的にするものである。日本教科書は自己評価振り返りが細かく、おかしい。「台湾に遺したもの」「白菊」等の教材も日本が戦前・戦中に起こした歴史的なことはなく、日本を美化するものである。

行政区：山科区 年齢：70歳

⑩ 道徳が教科になると聞いて数年、いよいよその時がきたと知り展示会に来ました。出版社によって見た目はさまざまだったがどの本も最後は自分のことを自分で判断し記入しなければならぬ。中学生時の自分ならどうすると言う思いになりながら見ていました。とても苦しい気持ちになりました。心を評価される事は、苦しいですね。未来に向う自分にも可能性はあるのだと思えるような、教科の中身であってほしい。担当教師はどのような準備をされるのか、評価を考え、答えてしまう生徒の気持ちがよぎり、これも苦しい気持ちになりました。こどもの未来を考える余裕は感じられず残念でした。

行政区：伏見区 年齢：62歳

⑪ どの教科書ももりだくさんで1～2社のひと学年をパラパラとしか見ていませんが…それにしても1学年でどれくらいの時間が道徳にあてられているのかとてもとてもこなせないのが現状では？と思いました。また、自分でノートを書いたり評価するのはいかがなものでしょうか？ものごとを読みとったり感じたりする考えることに評価することは可能とは思えません。暗記や成績のために、つめこむ今の学校先生も過労死される中、今道徳？！と思います。学ぶことは自分たちの暮らしの中、人生の中、生きることからこそ大切なことしっかり考える力もつくのではと思います。道徳とらえ方によってもこわいと思います。

行政区：伏見区 年齢：64歳

⑫ あかつき―「日本人としての自覚を持ち」の文言あり採択すべきでない。他国籍化している現代社会の中でこの文言は非常に不適切。中2、王貞治の国旗についての下り、国旗を着座して見る事を暗に非難。憲法で保障されている「内心の自由」とは真逆の考え方に誘導している。日本教科書採択すべきでない。「あかつき」と同様。何故「日本人としての自覚」などという文言を入れるのか。日本国籍でない子達の気持ちをどう考えているのか。

行政区：山科区 年齢：48歳

⑬ 「廣濟堂あかつき」道徳ノートは思春期の子どもたちをこうあらねばならぬ―とがんにがらめにしばりつける重苦しさを感じた。そもそも「人の心の内」を評価できないし、してはいけないと思うが、「日本教科書」「教育出版」「廣濟堂あかつき」の3社は自己評価欄をつけていた。これはいかがなものか。道徳を教科化すること自体反対だが教科となった以上、多様化を大切にしどんな考え方もはい除しない、何より子どもたちをがんにがらめにしない教科書を選んで下さい。現職の総理大臣の演説をのせている日本教科書は政治的な意図を感じます。

行政区：山科区 年齢：58歳

<北図書館> 17件

① <道徳を教科にして、評価することについて>教科書で勉強して身につくものとは思いません。人間としてやってはならないことやるべきことは毎日の生活（学校生活）の中で起きてくる人間関係の様々な問題を話し合い、お互いの思いを知る中で少しずつ理解が進む。教科書を読み意見を出し合うことは意味があるとは思いません。日本教科書には目次、教材の一覧表をみれば身につけるべき徳目が書かれています。強制するものではないし。評価され、通知票に反映されるなら、子どもは自分の本心を隠して、通り一遍の答をすることになり本音と建前を使いわれる子になるでしょう。これは子どもの思想・信条の自由、内心の自由を

侵す重大な問題です。◎日本教科書は絶対に採用しないでください。「白菊」という教材は「安倍晋三首相の演説文」が載せられていて、まさに教育の政治利用です。又、「台湾統治」や日本が中国と戦争した1日のことを、何故、満もう開拓が他国に行って行われたのか、や自国（中国）が他国に統治された側からの視点が欠落していて一方的見方を子どもたちに教えるものです。

行政区：上京区 年齢：65歳

- ② 道徳を教科にして評価する事自体が問題だと思います。普段の学校生活等で自然に身につくのが一番だと思います。押しつけるのではなく又、政治に関する内容がのっている教科書があります。（日本教科書）教育と政治は別だと考えます。日本教科書の採用は反対です。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ③ 私は道徳教科書で勉強すること自体が理解できません。学校生活の中で遊びの中で家庭の中でつまづいたり、けんかしたり失敗の中で、友達に注意されたりしながら成長できます。特に、日本教科書は採用しないでほしいです。

行政区：未記入 年齢：未記入

- ④ 今度道徳が教科になるということだが、道徳心というのは、幼い頃から家庭やまわりの環境の中でおのずとつちかわれていくもので、学校で教えたからといって身につくものではないと思います。かえって学校へいく年頃になると成績で評価されるので、自分の行いとは別にこう書けばよい成績になると考え、良いと思われる書き方発表をするようになる（使いわける）と思いきグします。教科書としては、様々な考え方があることを知らしめ、一方的な押しつけにならないよう、十分な配慮が必要だと思います。前向き指向の強い教科書が多く、どうかなあと読んで読ませてもらいました。教科書として採用してほしくないのは日本教科書です「崇高なもの」という項目は、いらないと思いますし、自分で自分の心の内側を書かせるところがあるのも気になります。それは人に見せるものではないと思います。

行政区：上京区 年齢：69歳

- ⑤ 8社の道徳教科書拝見しました。そのうち日本教科書の本が他社7社と比べて異色であり、たいへん気になる点はいくつかあります。ア. 教材の並べ方が学習指導要領で示されている内容項目の順番通りではないでしょうか。これは現場からすると、1学期にはAの内容ばかり学習することになり、使いにくい教科書になります。他社は内容項目をとりまぜ、バランスよく編集しています。イ. 巻末に「心の成長をふり返ろう」というページがあります。これは内容項目ごとに数値で自己評価させようというもので、文科省や京都市教育委員会の方針とは相入れません。ウ. 日本教科書株式会社は、調べてみますと嫌韓本やヘイトスピーチで問題になっている「在特会」の本を出版している人物とつながりが強い新規参入の会社です。いやに日本褒めの教材が多いのもそのせいかも知れません。多くは書けませんが、以上のような理由で日本教科書の教科書には反対します。京都市教育委員会がこのような教科書を採択するようなことがあっては市民的にも大きな問題となるでしょう。他の7社でいえば日本文教出版の本がいいかなと思いました。

行政区：左京区 年齢：65歳

⑥ 道徳の時間について：さまざまな答えがある日常生活の中で自分の考えを出したり、意見を述べることは、すでに学校生活であえて取り上げる必要があるのか、むしろ家庭の日常生活での会話が十分できたり、行動を共にしてきた、親や兄弟、姉妹からの意見で身について、たしなまれるものとする。道徳を教科として時間をもって、他の人の考えや意見を尊重することは中学校では身についていることで、ホームルームの時間を有効に使える内容だと思う。あえて評価に持っていくとすれば、思想や信条に踏み込むので逆効果だと思う。態度や行動まで評価するには間違いが生じる心配があります。“日本教科書”の内容は問題が多い。採用しないでいただきたい。ゆとりのない授業を一考するように、配慮してください。私自身宿題はいらなと思っています。子供達の自主性ができる中学生には道徳の授業はいらなと思っています。

行政区：上京区 年齢：76歳

⑦ 道徳、道徳心というのは、日々の生活の中で、周りの人々や社会、世界のあり方を知り、考え、人によって考え方が違うこと、共感できることなど経験することで育っていくのだと思います。教科書を読んで、それについて意見を出し合うとしても、中学生にもなると、どういう答を求められているのか悟るだろうし、それが評価に関係するなら本心を偽ることもでてくると思います。その意味では、日本教科書の自己評価欄はとても恐ろしいと感じました。1年の教材では、政治利用を思わせるものもあり、日本教科書だけは絶対に採用しないで欲しいと強く思いました。8社の中では、比較的中学生にも受け入れられる内容だと思ったのは日本文教出版社でした。

行政区：上京区 年齢：67歳

⑧ 日本教科書について○表紙が子ども向け（中学生）ではない。観光案内（ガイドブックの様式）○「考え、話し合ってみようそして深めよう」国語の教材の読み取りのようだ○p190道徳記録p191「心の成長を振り返りましょう」レベルで自己評価するのは難しいのではないかと正直に自分の評価ができる生徒がどれくらいいるだろうか。先生の評価（成績）を気にして、4レベルを選ぶ生徒がいるかもしれない（本音を出さない）他の教科では評価できても道徳ではむずかしい○「道徳」を評価すること自体無理があります。学校の先生方が道徳の本を上手に活用してくださることを願います。考え方や価値観は押しつけではダメ、生徒が、自ら、考えていくもの

行政区：左京区 年齢：66歳

⑨ 8社の教科書（1年～3年）をざっと目を通しました。国語、数学などの一般科目とはちがうはじめての道徳の教科書は中学生の目にはどううつるのだろうか、この教科でも成績がつけられるのだろうか。思春期に入った中学生は、友人のこと、家族のこと、進路のことなど悩みや問題をかかえはじめています。科目としての道徳とこれらの教科書とはどうかみ合うのだろうか。ソフトな雰囲気を楽し気な教科書は学校の図書館に複数冊置き貸し出すといいのでは。生徒達は毎日なんのために勉強するのか、人としてどう生きて行くのか、など大切なことを学ばなければならない。全国画一的にこういった教科書を使うのではなく、その地方、地域の独自なものを取りあげる。京都には多くの伝統文化がある。西陣や清水焼き、様々なその道の方のお話を聞いたり、見学、体験させてみてはどうか。人間としてどう生きるのかなどは日々の教科の授業の中で、生徒達は学んで行くと思う。ことに担任の先生からの影響は大きいだろう。またクラス、クラブの友達からも学んで行くと思う。先生方は多忙とい

う話を耳にします。やっぱり生徒と教師が何かあれば十分話し合える時間、そして気持ちのゆとりが必要ではないでしょうか。

行政区：北区 年齢：78歳

- ⑩ 日本教科書の見本本について、いくつか疑問を感じました。○2年1. 14歳の責任 少年院に送られるともう人生をやりなおせたいような否定的な文章である。責任という言葉のとらえ方もおかしい。○2年6. 百歳の詩人 十亀恵美子さんと柴田トヨさんのどちらについて言いたいのかよくわからない。2年8. 雨の日のレストラン 体をこわしそうなくらいの長時間労働を是認するような教材は問題である。2年18. 白菊 安倍首相の演説をのせる必要はないと思います。他にもおかしいと思うところがあったので、日本教科書の道徳教科書は採択しないでください。

行政区：北区 年齢：64歳

- ⑪ 報道されているように、教科書の重さは大変な問題である。小中学生への身体の負担、通学時に雨や風の状況では危険である。(ランドセル、かばんが重たすぎるため) 勿論、通学時には教科書以外にノート、問題集、資料集他、多くのものを持って行くが、少しでも軽量で扱いやすさを心がけるべきと考える。中学道徳教科書については、A4、B5、その中間サイズ、ノート付と様々である。大きいから内容が悪いとは決して言えないが、紙面とその大きさを有効に使っているのか大いに疑問を感じる。ノート付の内容も、設問がほとんど同じなので、重たいだけで意味がないと思う。子どもの負担を考えるのであれば、少しでもコンパクトで軽量の教科書が良い訳である。ページ数が多い教科書もあるが、本当にそれだけのページ数が必要なのかも疑問である。

行政区：上京区 年齢：58歳

- ⑫ 教材文を徳目と結びつけて扱い、エッセイや文学作品の受け止め方を一面的なものとしなにか心配します。日本教科書「ひさの星」「峠」・歴史的な背景に触れず、美談・生き方へと結びつけようとしているように思います。教育出版「六千人の命のビザ」どの教科書も、徳目提示が先にあり、教材、エッセイ etc で、徐々に一つの徳目に収めていくような編集となっているようで、“私”の記述につなげていくこわさを感じます。自己評価が入っているもの(教出、あかつき、日本教科書)もあり、本根も含めた広い学びからではなく、“好評価”を得られるような反応をしてしまうのではと心配です。教科書にしばられることになる先生方に、子ども達に心が痛む道徳教科書でした。

行政区：北区 年齢：64歳

- ⑬ 子どもの内心を評価するようなことはやめて下さい。とりわけ許せない内容となっている日本教科書は採用しないで下さい。安倍信三首相の演説文がのせられている(2年用)教育の政治利用をしていると感じさせられます。どの子も人間として大切にされる教育をすすめて下さい。

行政区：上京区 年齢：86歳

- ⑭ 日本教科書株式会社の道徳中学校2「生き方を見つめる」を見ると、冒頭A1から「責任」が強調されていて、教育のとりくみの姿勢や中心の「主体性」や「主体性」を育てることがしっかり位置づいていない。上から下へのスジ道、下の者としての行動などに力点がかかっ

ている。こんなのは教科書として不適である。教科書として採用すべきものではないと思う。

行政区：上京区 年齢：90歳

- ⑮ どれも分量が多いので現場の先生が何をしたいか考えて選んでつかうようにしてほしい。あいさつは礼儀とまとめられているが沢村貞子さんのようにコミュニケーションの道具・口先ではつたわないという視点は大事にしてほしい。主権者としてどう生きるか・正義とは公平とは自分で考えてきめられる子どもを育ててほしい。自己評価は先生のものぞむ自分を書いてしまうのではないかと心配です。やめるべきです。そんなたくする子ども作りはいけません。安心して本心が語れるような配慮が必要です。道徳を押しつけてはいけません。

行政区：北区 年齢：62歳

- ⑯ 徳目に対応して提示される資料が、画一的な解釈に導いたり無理な解釈を要求しているようです。(作品全体の読みや、社会状況との関わり、歴史の見方として疑問のある事柄の扱いなど、異和感があるものが全体に多く)道徳をもっと広い学習、生活全般を前向きに展望する中で位置づけてほしいです。日本教科書の「大地―八田与一の夢」「ウズベキスタンの桜」「白菊」「コラム伊勢神宮」など、歴史との関わりが大きく道徳とは言え子ども達の歴史観形成に影響があると思われるので不適切と思います。又、「ライフロール」「雨の日のレストラン」は、“働く”ことの意義を余りにも奉仕精神辛抱労働を持ち上げてしまうようで、労働の喜びに結びつけるような本来の目的からずれすぎているので不適切と思います。教育出版、学びの道しるべ文は、子ども達の自由な意見が出しにくいので不適切と思います。あかつき版は、量的にも内容的にもつめ込み過ぎて、現場への負担大で、かえって道徳上不適当な展開になりそうです。

行政区：北区 年齢：64歳

- ⑰ 道徳を教科にして、ましてや成績をつけることには絶対反対です。人の心の中を点数につけることはできません。まして、中学生は高校に入るための内シン点にもかかわります。自分の思いとは違っても良い点数をとれる方を…と考えることも充分考えられます。戦前に戻るかの様な危惧を覚えます。

行政区：上京区 年齢：61歳

<洛西図書館> 10件

- ① 道徳の教科は必要ありません。「こうでなければいけない」ような導き方をしているのは納得がいきません。“日本教科書”3年の「奇跡のリンゴ」はドングリの木とリンゴの木との関連性もわかりません。無肥料というのは違っています。「正しい礼儀」については何が言いたいかわかりません。おしつけです。「学校が学級集団の一員として」は軍隊を思わせます。正しく道徳教育というのであれば、こどもたちに寄りそい、個人を尊重していけるような考えを導びきだせる内容にしてください。

行政区：西京区 年齢：46歳

- ② 東京書籍…1年生半分を読みました。何だかとても疲れた感じですが。考え方や行動に規制をかけられている様で、迷いの気持ちや本当の気持ちが出しにくい雰囲気を感じました。その上、自己の達成目標の様なものを評価するなんて、問題かと思えます。道徳は個人の内心であり、人権に関わるものだと思っています。この様な分野を、教科として教えることには

反対です。展示場所はゆっくり見られる様に机があった方が良いです。採択にあたっては忙しい現場の先生方の意見を充分に取り入れていただきたいと思います。

行政区：西京区 年齢：70歳

- ③ 道徳を教科として扱うとはどんなことか、見せていただきました。全体として、あまりに個人の努力、それも極限までの努力が美しいものとされていることに異和感を覚えました。又、国際協力についても個人的なことに重点がおかれ、国と国との視点が欠けていることや、アジアへの戦争、真珠湾攻撃なども美化されていると思います。その点では日本教科書、あかつきは特に（他のも大なり小なりありますが）問題を強く感じました。そもそも道徳そのものを教科として、上からの大人の考えを押しつけるのはどうかと思います。

行政区：西京区 年齢：70歳

- ④ 日本の未来をになう中学生、感性の一番豊かな時期だと思います、家庭でも学校でも将来に夢を絵ける教材が必要なことは言うまでもありませんが、国の政治家がその時の権力にものを言わせて、一方向に統治国家し70数年前に戦争に若い命をうばってしまった失敗をくり返す事は絶対にしてはならないと思いますし、道徳教育をその一方的に本人の自由をうばう様な悪用を絶対にしない様にして頂きたいと思います。

行政区：西京区 年齢：60代

- ⑤ 道徳教育は、人間として互いを尊重し合い力を合わせて社会生活を送れるような考えを育てるために行なうものと思います。「評価」をするということは、生徒の考えをある方向に導いてしまうことにならないでしょうか。すると他の考えは「×」であると片付けられ、考えを発表することも控えられてしまい、多様性を認めることにはなりません、そうした戦前のようにひとつの価値観に染まっていくのが恐ろしく思います。首相の言葉は、ひとつの価値を押しつけていて、「戦争」を反省しているとは思えません。

行政区：西京区 年齢：65歳

- ⑥ 小学生の保護者ですが、参観日の度に道徳の授業があり本当にかっかりしています。他の課目に比べ参観する人数も減っている気がします。教科とする意味を感じないのに、中学校でもあるのか、と思うと…それでいろいろ教科書を見に来ました。スポーツ選手・有名人を挙げるのはわかりやすいのですが、本人や取材している人の話として出展されていなくて「？」です。中学生を取り巻く環境の中でもっと題材にすべき話はあるはずで、素人でも中学生自身の思いや悩みや迷いを同年代として考える時間であってはいけないのでしょうか？題材も多すぎて上っ面の話しかのせられずおもしろくありません。唯一、こういう形なら…と思ったのは「もう一つの〇〇」という同じ場面での対応が真逆だった時の例もあったことでした。考えてみるきっかけにはしやすいだろうと思います。道徳の教科化の白紙への努力と共に十分な検討をお願いします。

行政区：西京区 年齢：49歳

- ⑦ まず、教科書展示のあり方が、残念ながら図書館のすみっこの目立たないところで（冷房も効いておらず）とても大事なことなのに…もう少し入り口のわかりやすいところで誰の目にもふれるようにしてほしいです。期間も一週間では短かすぎます。道徳を教科として扱うことはムリがあると教科書を見てより強く感じました。歴史的な「ものがたり」は史実がき

ちんと伝えられないまま（台湾でのインフラの話など）一方的な美談にされていたり、本来歴史として戦争によって何がおこり何がもたらされたかを教えるべきで道徳にしてしまうのはおかしいと感じます。また働き方にかかわるよみ物も多く、子どもたちに実感をもって考えられないまま、一つの考え方を押しつけることにならないかと心配しています。とにかく、「道徳」を「教科書」を使って教えるということはムリがあると思います。

行政区：西京区 年齢：62歳

- ⑧ 東京書籍「新しい道徳」3年生を読みました。第五福竜丸のビキニの水爆実験で被爆した大石さんの話。大石さんの家族があじわったつらい大変や前向きに生きた精神力など描かれているが、水爆実験を行ったアメリカの責任や非人道性などが欠かせいるように感じた。歴史的な背景、その中でどう生きてこられたか、描いて欲しい。

行政区：西京区 年齢：66歳

- ⑨ 最終日、午後にやっと参りました。無作為に4社の「いのちの尊厳」に絞って、拝見しました。（日本文教・学図・学研・東書）どの社も工夫して、中学生に語りかけておられます。日本文教出版の教材が「編集委員会」の文が、最も少なく、良い、と思います。どういふ方の何という作なのかがわかり、中学生が図書館で原典に、自らあたって考えを深めたり、広げたり、していく上で良い、と思います。ご展示ありがとうございます。

行政区：西京区 年齢：67歳

- ⑩ 教育出版3、19死刑制度を考える、外国との比較が死刑を是とするか非とするかのみの観点からになっている。「なぜ」とふみこんで考えさせたい内容である。中学生に、この授業を受けることが、「人は、なぜ罪を犯すのか」「なぜ外国では死刑制度ではない方法が考えられているのか」など、考えるきっかけになればよいと思う。光村、中学生の心の種となる物語がたくさん入っているテキストだと思いました。学校図書株式会社、小学校のテキストを見たときは、露骨にある考えを押しつけてくる内容に驚きましたが、中学校はその反省を踏まえてか、あるいは批判力をもった中学生には適していないと考えたのか、以上の3社に関してはイデオロギーの「押しつけ」があまりないように思いました。しかし、そもそも、心の問題に関わる道徳は評価できないものです。その点はなんとか、改めてほしい。

行政区：西京区 年齢：63歳